

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)コブかながわ辻堂駅前店	階数	地上2F
建設地	神奈川県藤沢市辻堂神台1-7-2	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	1,000 人
気候区分		年間使用時間	6,500 時間/年
建物用途	物販店, 工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年3月 予定	評価の実施日	2013年4月2日
敷地面積	5,951 m <sup>2</sup>	作成者	(株)INA新建築研究所
建築面積	4,162 m <sup>2</sup>	確認日	2013年4月2日
延床面積	7,004 m <sup>2</sup>	確認者	(株)INA新建築研究所

外観/バース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.4** ★★★★★

S: A: B+: B: C:

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
参照値: 100%  
建築物の取組み: 72%  
上記+ 以外の: 72%  
上記+: 72%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです (kg-CO<sub>2</sub>/年・㎡)

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5  
Q1 室内環境: 3  
Q3 室外環境 (敷地内): 3  
LR1 エネルギー: 2  
LR2 資源・マテリアル: 1  
LR3 敷地外環境: 2

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.0

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.8

### LR 環境負荷低減性

**LRのスコア = 3.5**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
<p>どなたでも利用しやすい、バリアフリーで、環境に配慮し、地域の景観に貢献する店舗として計画した。</p> <p>環境面では太陽光パネル設置やLED照明などによる地球温暖化対策の措置、ゾーン毎の空調・照明の切り替えや、昼光利用設備の導入など積極的な配慮を行った。景観面では、敷地が湘南C-X特別景観形成地区であるため、基準を遵守し、周辺景観との形態・外壁色等の調和、潤いを与える樹種を選定した緑地などを計画することで町並みの景観に貢献する。</p>	<p>2階駐車場の開口部を駐車場と見せないような縦ルーバーの設置など、周辺景観との調和には特に配慮した計画とした。また太陽光パネルは大通り側に設置し、その発電量をディスプレイでアピールすることで環境啓発についても考慮した。</p>
<h4>Q1 室内環境</h4> <p>快適な室内温度を実現すべく空調設備等を導入した。また、LED照明など高効率な照明器具を導入し、照明にかかるエネルギーを削減する計画とした。また、ゾーンごとに空調の冷暖房が切り替えられるようにした。</p>	<h4>Q2 サービス性能</h4> <p>平面計画では純ラーメンにするなど自由度の高い構造、階高や売場の天井高さはゆとりをもった設計とし、開放的な室内空間となるよう計画した。耐久性の高い床材の採用など日常のメンテナンスが円滑に行えるように配慮した。</p>
<h4>LR1 エネルギー</h4> <p>太陽光発電を設置し電力の補填とする。また、西面・南面にはロールカーテン・日射遮蔽フィルムにより、空調負荷の抑制に努めた。空調設備等も高効率のものを採用し、エネルギーロスを削減する計画とした。</p>	<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <p>外構や外壁材の一部には再生材を使用したブロックやタイルを採用することで環境配慮に貢献する。また、雨水を貯留する天水桶を設置し散水等に使用することで、水資源の保全に貢献する。また外壁と仕上材の別が容易な工法を採用し、資源の有効活用が可能な計画とした。</p>
	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <p>効率のよい空調・換気・電気設備の採用、燃焼機器の不使用により、建物本体からの環境悪化要因を極力減らした計画としている。また、大規模小売店舗立地法に基く交通量予測による適切な駐車場・駐輪場の確保により、渋滞などの緩和に貢献している。</p>

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
**Q:** Quality (建築物の環境品質), **L:** Load (建築物の環境負荷), **LR:** Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), **BEE:** Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される